

江戸の庭園文化を
知る・歩く・味わう

浜離宮×旧芝離宮 ワークショップ

定員：各回 20名

参加費 無料

将軍家と大名、江戸の庭園文化を一日で体感

募集期間
2026年9月8日(火) 09:30
～9月25日(金) 12:00まで

浜離宮と旧芝離宮を舞台に、将軍家と大名の美意識や
江戸の庭園文化をひもとく特別なワークショップ。
専門家と二つの庭園を巡り、鴨場の歴史や将軍家の食文化にも触れながら、
「知る・歩く・味わう」江戸のひとときをお楽しみください。

ワークショップ 1

二つの「潮入の庭園」を見比べる知的体験
～将軍家と大名、江戸の庭園文化を一日で体感～



定員20名

＜開催日＞ 10月3日 土

ワークショップ 2

（浜離宮のみ）
将軍家の食ともてなしを体験する
～浜離宮で学び、味わう「将軍家のもてなしの食文化」～



※写真はイメージです。

定員20名

＜開催日＞ 10月4日 日

＜集合場所＞
浜離宮恩賜庭園 大手門口
アクセス：大手門口まで
「築地市場駅」(都営大江戸線 徒歩7分)
「汐留駅」(ゆりかもめ 徒歩約7分)
「新橋駅」(JR・東京メトロ銀座線
・都営浅草線 徒歩約12～15分)

＜問い合わせ先＞
中央区・港区 江戸の文化財活用推進協議会 事務局
Email：tokyo-edo-bunkazai@jtb.com
対応時間：平日9:30～17:30 ※土・日・祝日を除く

＜申込方法＞
下記二次元コードよりお申し込みください。
※最新情報は、申込ページにて順次公開します。
※応募多数の場合は、抽選となります。

浜離宮恩賜庭園は、令和8年4月に一般開園80周年を迎えました。本ワークショップを通して、歴史や自然など浜離宮のさまざまな魅力をぜひお楽しみください。

開園80周年 浜離宮恩賜庭園

お申込みはこちら！→

＜主催＞ 中央区・港区 江戸の文化財活用推進協議会

この事業は、公益財団法人東京観光財団の
「観光まちづくりにおける江戸の文化財等の活用促進事業」を活用して実施しています。

EdoTokyo

ワークショップ 1

二つの「潮入の庭園」を見比べる知的体験

～将軍家と大名、江戸の庭園文化を一日で体感～



同じ「潮入の庭園」でありながら、将軍家の庭園・浜離宮と、
大名庭園・旧芝離宮は、なぜこれほど印象が異なるのでしょうか。
本ワークショップでは、まず浜離宮の「芳梅亭」で座学を行い、
二つの庭園の成り立ちや見比べの視点を学びます。
浜離宮見学の後、専用車で移動し旧芝離宮へ。両庭園を実際に歩き、スケール、空間構成、
水の使い方に表れた将軍と大名の美意識の違いを、専門の先生の解説とともに体感します。

見どころ① 浜離宮恩賜庭園（将軍家の庭）





東京農業大学 造園科学科
服部 勉先生　監修

＜成り立ち＞
- 徳川将軍家の別邸「浜御殿」
- 江戸湾とつながる、将軍のための庭園

＜特徴＞
- 海水を引き入れた潮入の池
- 大きく開放的な空間構成
- 空・海・遠景へ視線が抜ける景観

見どころ② 旧芝離宮恩賜庭園（大名の庭）





千葉大学大学院 園芸学研究院
竹内　智子先生　監修

＜成り立ち＞
- 老中・側近クラス大名の屋敷庭園
- 将軍に仕える立場の「家臣の庭」

＜特徴＞
- 淡水池を中心とした回遊式庭園
- 石組・築山による緻密な設計
- 視線を庭の内部へ導く構成

詳細：
実施時期：10月3日（土）
定員　　：20名
所要時間：約210分（3時間30分）
移動手段：庭園間は専用車利用
同行者　：専門家
東京農業大学 造園科学科 服部 勉先生／
千葉大学大学院 園芸学研究院 竹内 智子先生

タイムスケジュール：
09:30 浜離宮・芳梅亭 集合 → 座学（60分）
10:30 浜離宮恩賜庭園 見学（60分）
11:40 専用車移動（25分）
12:05 旧芝離宮恩賜庭園 見学（50分）
12:55 まとめ・質疑 → 13:00頃 解散

※雨天決行。ただし、荒天その他安全な実施が困難と主催者が判断した場合は、開催前または途中で中止することがあります。

ワークショップ 2

将軍家の食ともてなしを体験する

～浜離宮で学び、味わう「将軍家のもてなしの食文化」～



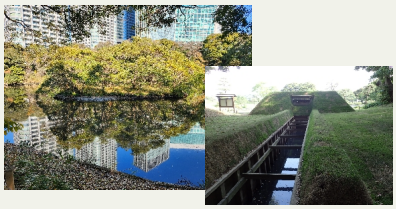
江戸時代、浜離宮は将軍が諸大名や朝廷関係者などの外客を迎える迎賓の場でした。
本ワークショップでは、将軍家の食文化ともてなしの思想を「学ぶ」「想像する」「味わう」体験として再構成します。

見どころ① 芳梅亭で学ぶ｜将軍家の食文化（座学）



- 将軍家における「食」と、儀礼・政治・もてなしとの関わりを解説いたします。
- 迎賓の場でもあった浜離宮の歴史を紹介いたします。
- 「鯛」が将軍家のもてなしに用いられた理由を学びます。
- 浜離宮で「塩」が作られていた理由と、江戸の食文化とのつながりを学びます。

見どころ② 庭園で想像する｜「鴨場」で行われていた鷹狩と鴨猟



- 浜離宮には「新銭座鴨場」「庚申堂鴨場」があり、現在は全国で6カ所しか残っていない貴重な空間です。
- 周囲を土手や木々で囲み、鷹やさで網で鴨を捕らえる伝統的な狩猟法「引堀（ひきぼり）」が特徴です。
- 潮入の庭園と食文化のつながりを学びます。
- 庭園の職員により「鴨場」の歴史を解説いたします。

見どころ③ 味わう｜将軍家のもてなしの食文化



※写真はイメージです。

- 将軍家がもてなす料理には、縁起の良い食材（鯛、海老、昆布など）が使用されました。
- 食べ方・供し方・意味を解説いたします。
- 当日は、徳川家の食事を現代に再現した特製弁当をお楽しみいただけます。

詳細：
実施時期：10月4日（日）
実施場所：浜離宮恩賜庭園
所要時間：約90分
定員　　：20名
同行者　：日本史・食文化の専門家

タイムスケジュール：
10:30 浜離宮・芳梅亭 集合 → 座学（30分）
11:00 浜離宮 鴨場見学（30分）
11:30 浜離宮・芳梅亭 にて将軍家食事実食（30分）
12:00 浜離宮恩賜庭園 自由見学　解散

※雨天決行。ただし、荒天その他安全な実施が困難と主催者が判断した場合は、開催前または途中で中止することがあります。

＜主催＞ 中央区・港区 江戸の文化財活用推進協議会